



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成27年5月14日

上場会社名 株式会社ネクソン 上場取引所 東
 コード番号 3659 URL <http://www.nexon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) オーウェン・マホニー
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役最高財務責任者 (氏名) 植村 士朗 TEL 03-3523-7910
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	51,972	9.4	22,219	4.9	24,682	13.4	18,847	15.5	18,539	14.8	19,034	420.2
26年12月期第1四半期	47,491	7.0	21,171	2.2	21,768	△3.6	16,322	6.3	16,144	6.6	3,659	△85.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	43.05	41.96
26年12月期第1四半期	36.74	36.23

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	445,239	359,170	353,816	79.5
26年12月期	437,022	345,477	340,380	77.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	-	5.00	-	5.00	10.00
27年12月期	-	-	-	-	-
27年12月期（予想）	-	5.00	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期第2四半期（累計）の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	92,226	9.3	31,023	△0.4	34,325	18.3	26,155	27.6	25,719	27.1	59.93
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	94,972	12.5	33,270	6.9	36,572	26.0	28,439	38.8	28,003	38.4	65.25

(注) 平成27年12月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第2四半期（累計）の業績予想のみを開示しております。また、特定の数値による予想が困難であるためレンジ形式での開示を行っております。詳細は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期1Q	432,195,017株	26年12月期	431,256,017株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	3,549,700株	26年12月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期1Q	430,614,317株	26年12月期1Q	439,403,317株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	5
3. 要約四半期連結財務諸表	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 継続企業の前提に関する注記	12
(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(8) セグメント情報	12
(9) 後発事象	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き緩やかな回復基調にて推移しました。米国は個人消費に支えられ堅調に推移し、欧州はイギリス、ドイツ、フランス等主要国での消費を中心に緩やかな回復傾向を維持しました。中国やアジアの新興国は減速感を伴いつつも一定の成長を維持しました。一方、国内においては消費増税以降、消費の低迷は続いています。堅調な輸出需要に支えられ回復基調を持続しました。

現在、世界のゲーム業界では三つの変化が起きています。一つ目は、「オフライン」から「オンライン」への変化です。二つ目は、「シングルプレイヤー型」のゲームから、「マルチプレイヤー型」のゲームへの移行です。三つ目は、「Free-to-Play」モデルの誕生による、ゲームに対する課金スタイルの変化です。また、これらの変化に加えて、世界的なブロードバンドインターネット環境の普及により、世界の多くの国ではPCオンラインゲーム市場が引き続き成長を続けていると共に、スマートフォン（高性能携帯電話）の急速な普及を背景に、モバイルゲーム市場が急成長を遂げています。

このような状況の下、当社グループは、PCオンライン事業及びモバイル事業を展開し、ユーザーの皆様楽しんでいただける高品質なゲームの開発、コンテンツの獲得、新規ゲームタイトルの配信に努めるとともに、既存ゲームタイトルのアップデートを推し進めてまいりました。具体的には、グループ内におけるゲーム開発力の強化、他社との共同開発を含めた事業提携、有力なゲーム開発会社の買収等による高品質な新規ゲームタイトルの配信、モバイル事業におけるネイティブアプリの開発力強化、既存ゲームタイトルの魅力的なコンテンツアップデートを実施するための事業基盤の更なる強化などに取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、中国で主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の売上が、2月後半から3月に実施したコンテンツアップデート及びアイテムセールがユーザーの好評を博したことにより第1四半期の後半で好調となったこと、韓国において『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)や『サドンアタック』(Sudden Attack)などの既存PCオンラインゲーム、『EA SPORTS™ FIFA Online 3 M』(以下FIFA Online 3 M)や『Legion of Heroes』などの既存モバイルゲームが好調であったこと等により、売上収益は前年同期比で増加致しました。費用面では、『EA SPORTS™ FIFA Online 3』(以下FIFA Online 3)及び『FIFA Online 3 M』の好調に伴うロイヤリティ費用の増加、韓国子会社における人員増による人件費の増加などにより、売上原価は前年同期比で増加致しました。販売費及び一般管理費は、韓国における積極的な研究開発活動の実施による研究開発費の増加により、前年同期比で増加致しました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は51,972百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は22,219百万円(同4.9%増)、税引前四半期利益は24,682百万円(同13.4%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は18,539百万円(同14.8%増)となりました。

報告セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

① 日本

日本では、PCオンラインゲーム及びモバイルゲーム共に減収となったことから、売上収益は5,864百万円(前年同期比27.8%減)、セグメント損失は258百万円(前年同期は728百万円の利益)となりました。

② 韓国

第1四半期は、旧正月による強い季節性が例年見られます。韓国国内においては好調な既存PCオンラインゲーム及び既存モバイルゲームが業績に寄与しました。また、韓国セグメントの売上収益には、子会社であるネクソン・コリア・コーポレーションの傘下にあるネオブル・インクの中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。当第1四半期は、中国における主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の2月後半から3月に実施したコンテンツアップデート及びアイテムセールがユーザーの好評を博したことによるロイヤリティ収益の増加が業績に寄与しました。このように、当第1四半期はPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム共に好調であったことから、売上収益は43,061百万円(前年同期比19.7%増)、セグメント利益は23,212百万円(同11.0%増)となりました。

③ 中国

中国では、既存のPCオンラインゲームに係るコンサルティング収入が減少したことから、売上収益は822百万円(前年同期比45.0%減)、セグメント利益は381百万円(同65.1%減)となりました。

④ 北米

北米地域におきましては、配信中のゲームタイトルについてゲームの運用やマーケティングの改善により一部のタイトルが増収となりましたが、新規モバイルタイトルのマーケティング費用の増加により利益が減少したことから、売上収益は1,752百万円(前年同期比35.2%増)、セグメント損失は679百万円(前年同期は360百万円の損失)となりました。

⑤ その他

その他地域におきましては、売上収益は473百万円(前年同期比20.7%減)、セグメント損失は60百万円(前年同期は13百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は445,239百万円であり、前連結会計年度末に比べて8,217百万円増加しております。主な要因は、営業債権及びその他の債権の増加(前期末比7,723百万円増)等であります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は86,069百万円であり、前連結会計年度末に比べて5,476百万円減少しております。主な要因は、賞与支給による引当金(流動)の減少(前期末比1,775百万円減)、納付による未払法人所得税の減少(同1,088百万円減)等であります。

(資本)

当第1四半期会計期間末における資本の残高は359,170百万円であり、前連結会計年度末に比べて13,693百万円増加しました。主な要因は、四半期利益計上に伴う利益剰余金の増加(前期末比16,398百万円増)等でありませ

ず。この結果、親会社所有者帰属持分比率は79.5%(前連結会計年度末は77.9%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,261百万円増加し、120,990百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13,460百万円(前年同期は9,169百万円の収入)となりました。主な収入要因は、税引前四半期利益24,682百万円であり、主な支出要因は、営業債権及びその他の債権の増加額4,761百万円、法人所得税の支払額8,660百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,809百万円(前年同期は11,005百万円の収入)となりました。主な支出要因は、その他の預金の増加額1,465百万円、有形固定資産の取得による支出683百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4,936百万円(前年同期は7,276百万円の支出)となりました。主な支出要因は、自己株式取得による支出4,251百万円、配当金の支払額1,096百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、世界中でPC及びモバイルの高速インターネット利用環境の一層の整備が見込まれることなどを背景に大きく変化をしております。連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されることから、通期の業績予想を算出することが困難であり、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するために、通期業績予想を開示することを控え、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「平成27年12月期第2四半期(累計)の連結業績予想」は平成27年12月期第1四半期連結累計期間の実績値に第2四半期連結会計期間の業績予想を加算したのとなっております。平成27年12月期第2四半期連結会計期間の業績予想については、下表をご参照ください。

当社グループにおける平成27年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想は、売上収益92,226~94,972百万円(前年同期比9.3%~12.5%増)、営業利益31,023~33,270百万円(同0.4%減~6.9%増)、税引前利益34,325~36,572百万円(同18.3%~26.0%増)、四半期利益26,155~28,439百万円(同27.6%~38.8%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益25,719~28,003百万円(同27.1%~38.4%増)、基本的1株当たり四半期利益59.93~65.25円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国をはじめとして、世界中で事業を運営しております。取引における主要な為替レートは1ドル=119.09円、100ウォン=10.85円、1中国元=19.32円と想定しています。一般に韓国ウォンも中国人民幣も米国ドルと連動して為替は推移します。このことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円為替が変動した場合、第2四半期は売上収益が約310百万円、営業利益が約90百万円変動するものと当社では推定しております。

平成27年12月期第2四半期連結累計期間におけるPCオンライン及びその他事業の予想売上収益は73,660~75,422百万円です。韓国及び中国において第2四半期は、旧正月の影響で季節的に強い第1四半期からの反動により、例年季節的に弱い時期となりますが、韓国においては、『サドンアタック』(Sudden Attack)、『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)、『メイプルストーリー』(Maple Story)等の既存のPCタイトルに関し高品質なコンテンツアップデートの実施を予定しております。また、中国においても主力タイトル『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)に関し、高品質なコンテンツアップデートの実施を予定していることに加え、『カウンターストライクオンライン2』(Counter Strike Online2)を当第2四半期中(4月22日)にリリース致しました。モバイル事業は、既存のモバイルゲームに加えて、当第2四半期にリリースされた『Top of Tanker』や欧米地域でサービスを開始した『DomiNations』等の有力タイトルが新たに業績に寄与することを予測した結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益を18,566~19,550百万円と予想しております。これらの要因により、当第2四半期の売上収益は対前年同期比で増加することを予想する一方で、費用面は、ストック・オプション費用の減少による人件費の減少が見込まれるものの、『DomiNations』や『Top of Tanker』等の外部IPに係るロイヤリティ費用やモバイルゲーム関連の支払手数料等に関する変動費の増加、及び『DomiNations』を含む多数の新規タイトルのローンチに伴う広告宣伝費などの費用の増加が予想されます。これにより、当第2四半期の営業利益率は、対前年同期比で下落することが予想されます。業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいるため、実績値は業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

平成27年12月期第2四半期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成27年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	40,254	9.1	8,805	△11.6	9,643	32.9	7,307	75.3	7,180	75.8	16.79
	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	43,000	16.6	11,051	10.9	11,889	63.8	9,592	130.1	9,463	131.6	22.13

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、特段の記載がない限り、以下の新たに適用する基準を除いて、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より以下の基準を適用しております。これらについては、当第1四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IFRS第2号	株式に基づく報酬	権利確定条件の定義を改訂
IFRS第3号	企業結合	企業結合における条件付対価の会計処理の改訂 IFRS第3号の適用範囲から除外される共同支配の取決めの範囲を明確化
IFRS第8号	事業セグメント	複数の事業セグメントを集約して報告セグメントを決定している場合の開示を追加 また、報告セグメントの資産に関する規定を明確化
IFRS第13号	公正価値測定	ポートフォリオの公正価値測定に関する例外規定の適用範囲を明確化
IAS第16号	有形固定資産	再評価モデルの会計処理を改訂
IAS第19号	従業員給付	確定給付制度の規約で要求される従業員又は第三者による拠出の会計処理の明確化
IAS第24号	関連当事者についての開示	経営幹部としてのサービスを提供する企業が、報告企業の関連当事者に該当することを明確化
IAS第38号	無形資産	再評価モデルの会計処理を改訂
IAS第40号	投資不動産	不動産の取得に関する、IAS第40号とIFRS第3号の適用の関係の明確化

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2014年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	117,729	120,990
営業債権及びその他の債権	32,280	40,003
その他の預金	100,235	100,862
その他の金融資産	3,029	3,370
その他の流動資産	4,852	5,729
流動資産合計	258,125	270,954
非流動資産		
有形固定資産	24,039	23,381
のれん	35,426	35,298
無形資産	16,574	13,108
持分法で会計処理している投資	1,845	1,842
その他の金融資産	93,779	93,346
その他の非流動資産	2,518	2,732
繰延税金資産	4,716	4,578
非流動資産合計	178,897	174,285
資産合計	437,022	445,239

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2014年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	10,214	10,340
繰延収益	10,718	10,860
借入金	13,180	14,969
未払法人所得税	12,836	11,748
その他の金融負債	1,268	289
引当金	2,323	548
その他の流動負債	6,484	6,703
流動負債合計	57,023	55,457
非流動負債		
繰延収益	2,440	1,770
借入金	23,244	20,744
その他の金融負債	1,820	1,895
引当金	291	292
その他の非流動負債	1,359	1,364
繰延税金負債	5,368	4,547
非流動負債合計	34,522	30,612
負債合計	91,545	86,069
資本		
資本金	52,481	52,726
資本剰余金	40,830	41,072
自己株式	-	△4,249
その他の資本の構成要素	92,044	92,844
利益剰余金	155,025	171,423
親会社の所有者に帰属する持分合計	340,380	353,816
非支配持分	5,097	5,354
資本合計	345,477	359,170
負債及び資本合計	437,022	445,239

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)
売上収益	47,491	51,972
売上原価	△10,249	△12,602
売上総利益	37,242	39,370
販売費及び一般管理費	△14,855	△16,776
その他の収益	208	124
その他の費用	△1,424	△499
営業利益	21,171	22,219
金融収益	1,014	2,576
金融費用	△385	△117
持分法による投資利益(△は損失)	△32	4
税引前四半期利益	21,768	24,682
法人所得税費用	△5,446	△5,835
四半期利益	16,322	18,847
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,144	18,539
非支配持分	178	308
四半期利益	16,322	18,847
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	36.74円	43.05円
希薄化後1株当たり四半期利益	36.23円	41.96円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)
四半期利益	16,322	18,847
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△10,667	2,914
確定給付型年金制度の再測定額	1	0
法人所得税	4,413	△297
純損益に振替えられることのない項目合計	△6,253	2,617
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△6,417	△2,424
キャッシュ・フロー・ヘッジ	16	△6
持分法によるその他の包括利益	△0	0
法人所得税	△9	△0
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目合計	△6,410	△2,430
その他の包括利益合計	△12,663	187
四半期包括利益	3,659	19,034
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,629	18,777
非支配持分	30	257
四半期包括利益	3,659	19,034

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2014年1月1日至2014年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金			
資本(期首)	51,952	50,688	△0	74,468	131,374	308,482	4,577	313,059
四半期利益	-	-	-	-	16,144	16,144	178	16,322
その他の包括利益	-	-	-	△12,515	-	△12,515	△148	△12,663
四半期包括利益合計	-	-	-	△12,515	16,144	3,629	30	3,659
新株の発行	72	72	-	-	-	144	-	144
新株発行費用	-	△0	-	-	-	△0	-	△0
配当金	-	-	-	-	△2,197	△2,197	-	△2,197
株式に基づく報酬取引	-	-	-	736	-	736	-	736
非支配持分の取得及び処分	-	22	-	-	-	22	37	59
所有者との取引額合計	72	94	-	736	△2,197	△1,295	37	△1,258
資本(期末)	52,024	50,782	△0	62,689	145,321	310,816	4,644	315,460

当第1四半期連結累計期間(自2015年1月1日至2015年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金			
資本(期首)	52,481	40,830	-	92,044	155,025	340,380	5,097	345,477
四半期利益	-	-	-	-	18,539	18,539	308	18,847
その他の包括利益	-	-	-	238	-	238	△51	187
四半期包括利益合計	-	-	-	238	18,539	18,777	257	19,034
新株の発行	245	245	-	-	-	490	-	490
新株発行費用	-	△1	-	-	-	△1	-	△1
配当金	-	-	-	-	△2,156	△2,156	-	△2,156
株式に基づく報酬取引	-	-	-	577	-	577	-	577
自己株式の取得	-	△2	△4,249	-	-	△4,251	-	△4,251
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	-	△15	15	-	-	-
所有者との取引額合計	245	242	△4,249	562	△2,141	△5,341	-	△5,341
資本(期末)	52,726	41,072	△4,249	92,844	171,423	353,816	5,354	359,170

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	21,768	24,682
減価償却費	3,786	4,035
株式報酬費用	777	686
受取利息及び受取配当金	△769	△2,249
支払利息	138	95
減損損失	1,298	409
持分法による投資損益(△は益)	32	△4
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△10,165	△4,761
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	911	724
繰延収益の増減額(△は減少)	△539	△332
その他	△837	△1,702
小計	16,400	21,583
利息及び配当金の受取額	717	759
利息の支払額	△287	△222
法人所得税の支払額	△7,661	△8,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,169	13,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
その他の預金の増減額(△は増加)	8,851	△1,465
有形固定資産の取得による支出	△1,326	△683
有形固定資産の売却による収入	436	3
無形資産の取得による支出	△621	△468
長期前払費用の増加を伴う支出	△392	△305
有価証券の取得による支出	△274	△374
有価証券の売却による収入	2,641	-
関連会社売却による収入	79	-
その他	1,611	△517
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,005	△3,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	1,000
長期借入れによる収入	-	5,000
長期借入金の返済による支出	△4,989	△5,829
ストック・オプションの行使による収入	104	380
自己株式取得による支出	-	△4,251
配当金の支払額	△2,197	△1,096
その他	△194	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,276	△4,936
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,898	4,715
現金及び現金同等物の期首残高	138,843	117,729
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△2,701	△1,454
現金及び現金同等物の四半期末残高	149,040	120,990

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(8) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取り扱う商品・サービスについて国内においては当社及び国内連結子会社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」及び「その他」の5つとしており、「その他」の区分には欧州及びアジア諸国が含まれております。

② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	8,127	35,977	1,495	1,295	597	47,491	-	47,491
セグメント間収益	8	935	-	3	8	954	△954	-
計	8,135	36,912	1,495	1,298	605	48,445	△954	47,491
セグメント利益又は損失 (注1)	728	20,908	1,091	△360	13	22,380	7	22,387
その他の収益・費用(純額)								△1,216
営業利益								21,171
金融収益・費用(純額)								629
持分法による投資損失								△32
税引前四半期利益								21,768

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	5,864	43,061	822	1,752	473	51,972	-	51,972
セグメント間収益	25	846	-	1	-	872	△872	-
計	5,889	43,907	822	1,753	473	52,844	△872	51,972
セグメント利益又は損失 (注1)	△258	23,212	381	△679	△60	22,596	△2	22,594
その他の収益・費用(純額)								△375
営業利益								22,219
金融収益・費用(純額)								2,459
持分法による投資利益								4
税引前四半期利益								24,682

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
 2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
 3. セグメント利益又は損失の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。

③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)
	百万円	百万円
日本	8,121	5,858
韓国	15,251	20,464
中国	21,302	22,697
北米	1,345	1,695
その他	1,472	1,258
合計	47,491	51,972

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米：米国及びカナダ
 (2) その他：欧州、中南米及びアジア諸国

④ 事業別の売上収益

事業別の売上収益は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)
	百万円	百万円
PCオンライン	39,960	43,210
モバイル	7,195	8,370
その他	336	392
合計	47,491	51,972

(9) 後発事象

該当事項はありません。